

3月4日 学習・討論会のお知らせ

和歌山に
使用済燃料の
中間貯蔵施設は
い・ら・な・い!

いまだに
中間貯蔵の
核のゴミの

日時: 3月4日(日) 13:10開場~16:30

場所: 大阪府社会福祉会館 5階 503号

地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅 2号出口 歩き約10分
(会場に近い「4号出口」は工事で閉鎖中のため、「2号出口」から)

参加費: 一般 500円、避難者・大学生以下 300円

主催: 避難計画を案ずる関西連絡会

和歌山からの報告
松浦雅代さん
(脱原発わかやま)

皆様へ

関西電力は、原発の使用済燃料の中間貯蔵施設について、今年中に計画地点を公表すると表明しています。昨年11月末に、福井県知事が大飯原発3・4号の再稼働同意と引き換えに、中間貯蔵施設の福井県外立地を関西電力に強く要請したためです。

使用済燃料を海上輸送するため、中間貯蔵施設は港湾施設を必要としています。青森県むつ市の中間貯蔵施設に運ぶ案は、むつ市長によって1月7日に強く拒絶されました。日本海沿岸の宮津市、舞鶴市を含む京都府及び兵庫県の3市町すべて(豊岡市、香美町、新温泉町)はすでに受け入れ拒否の姿勢を明確にしています。

このような中、和歌山県白浜町日置川が候補地として急浮上しています(町村合併で、日置川町は白浜町に)。白浜町長は、昨年12月の町議会で、関西電力や国から申し出があれば

「話は聞くことになる」と答弁し、他の市町とは姿勢が異なります。ここには約40年前に関電が原発新規立地のために入手した土地があり、さらに新たな土地を日置川河口周辺で入手しています。関西電力は駐在員をこれまでの2名から4名に増やし、さまざまな活動を行っています。

この動きに対し、和歌山県内では学習会がもたれ、「脱原発わかやま」等が2月23日に白浜町長に申し入れを行う予定になっています。このような状況を和歌山の松浦さんに報告してもらいます。

中間貯蔵施設が実は永久の核のゴミ捨て場になること、南海トラフ地震・津波による危険性があること等について学習します。温泉やパンダ等で人気の観光地白浜町を核のゴミ捨て場にしてはなりません。和歌山の人たちと連携して、関西での活動について討論します。ぜひ多数ご参加ください。

..... 2018年2月15日 避難計画を案ずる関西連絡会



グリーン・アクション 京都市左京区田中関町22-75-103
TEL: 075-701-7223 Fax: 075-702-1952

美浜の会 大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階
TEL: 06-6367-6580 FAX: 06-6367-6581
(この活動は、一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストの2017年度助成を受けています)

原発なしで暮らしたい丹波の会 京都府南丹市園部町船岡薬無8-2 こだま方
TEL: 090-3862-2468

脱原発はりまアクション TEL: 079-421-2853

原発防災を考える兵庫の会 TEL: 080-5707-7908